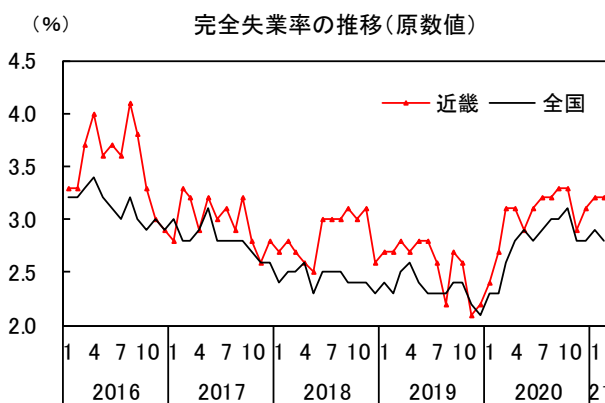
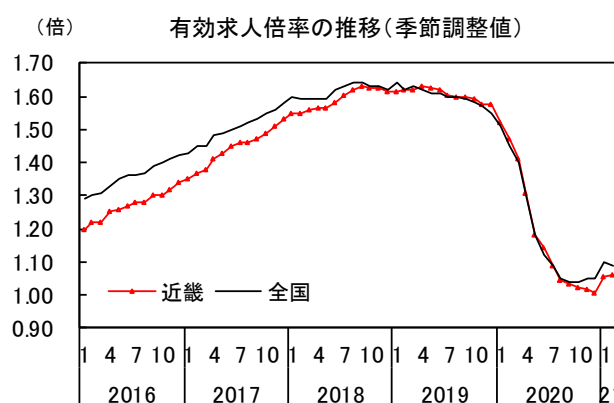


## 関西の景気ピックス【雇用関連（21年2月）】

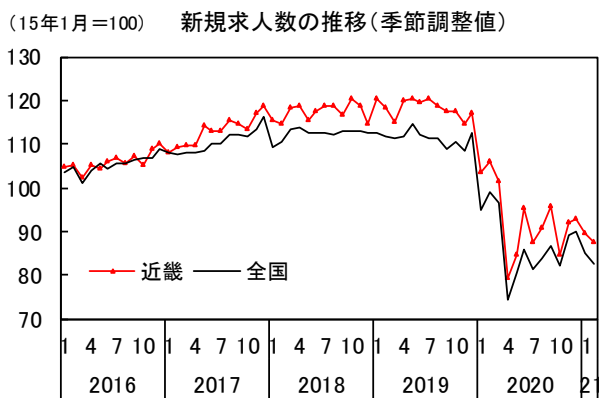
- 21年2月の労働力調査（総務省）によると、近畿の完全失業率は3.2%（原数値）と、前年比で0.5ポイントの上昇となった。前年を上回るのは12か月連続。変化の内訳は、就業者数が前年比で3万人の減少となったほか、失業者は6万人の増加、非労働力人口は3万人の減少となった。就業者の減少は10か月連続で、失業者の増加は13か月連続。
- 一方、近畿の有効求人倍率（厚生労働省）は、21年2月は1.06倍（季節調整値）と前月比で0.01ポイント上昇した。
- 有効求人倍率は前月比で上昇しつつあるものの、その他の雇用指標を含めて判断すると、まだ楽観視は許されない。特に、失業者数は前年比で増加が続いている。現状は数万人規模の増加となっているが、10万人を超えるような増加となるようであれば、警戒が必要とみられる。



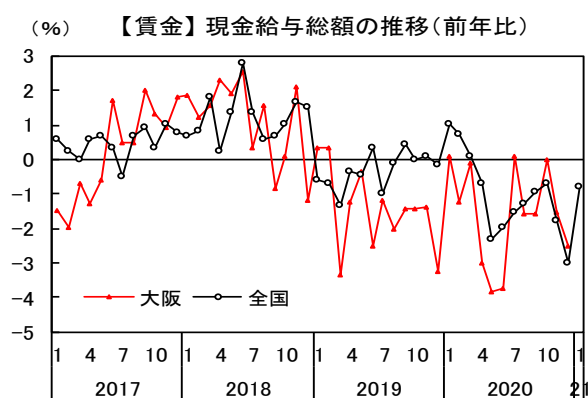
(出所)総務省「労働力調査」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「職業安定業務統計」



(出所)厚生労働省「毎月勤労統計調査」

本件照会先:大阪本社 荒木秀之  
TEL:06(4705)3635 mail:hd-araki@rri.co.jp